

令和3年度  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰

受賞事例集



# 令和3年度

## バリアフリー・ユニバーサルデザイン

### 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった24件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰2件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞2件及び奨励賞3件が選考され、表彰式において、若宮内閣府特命担当大臣から受賞団体代表者に対し、表彰状が授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



令和4年3月  
内閣府

令和3年度（2021年度）バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式

開催日：令和3年（2021年）12月23日（木）

開催場所：内閣総理大臣官邸大ホール

講

評



令和3年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

令和3年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」3件、「製品開発」9件、「活動等」12件、計24件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦者から提出された推薦書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、現地調査候補を選考しました。現地調査では、感染拡大防止にも十分配慮しながら、各推薦者から提出された推薦書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記7件を今年度の受賞者として選出しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された株式会社高知システム開発は、1984年に日本初の点字入力・音声出力のワープロを完成させました。この時期は晴眼者にとってもワープロの普及期にあたり、視覚障害者が墨字を読み書きできる画期的な製品開発となりました。今日では視覚障害者用ソフトウェアの国内シェア約80%に達し、視覚障害者のユーザビリティを最優先に掲げた業界トップの企業として極めて高く評価されました。同じく内閣総理大臣表彰を受賞された社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設は、過疎化の激しい地方都市・輪島市内の空き家を高齢者や児童の多面的な活動サービス拠点に再生させたことを皮切りに、地域住民がふれあう温泉、レストランなど異業種を組み合わせたユニークなコミュニティ複合施設を整備し、空き家通りの街並みを一変させる景観づくりに貢献しました。これらの活動が極めて高く評価されました

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞されたオムロン ヘルスケア株式会社は、1993年に国内初の音声付体温計を発売し、その後長年に渡り視覚障害者の健康管理に関わる製品開発に関与し、より使いやすい音声体温計の改善を進めています。結果視覚障害のある人に関わらず誰にとっても使いやすい体温計になっている点が高く評価されました。同じく優良賞を受賞された特定非営利活動法人Creerは、障害のある人の可能性を実現する就労の場として、

2008年にレストランを開設しました。その後就労継続支援B型事業所として認可され、現在では一日300食の弁当を公共施設等に配達し、さらには2018年から子ども食堂を開設して、地域における子どもから高齢者までの重要なインクルーシブ交流拠点になっている点が高く評価されました。

また、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞された東京大学バリアフリー支援室は、障害のある学生、教職員の人權と学内での学び、就労をサポートする総合的な支援組織として2002年に活動が開始されています。この支援室は総長室の主導で機能し、障害のある学生への支援はもちろんのこと、障害のある教職員の就労支援にも積極的に取り組んでいます。こうした活動は全国の高等教育機関におけるバリアフリー支援活動の模範となっており、これらの点が高く評価されました。同じく奨励賞を受賞された認定特定非営利活動法人トラッソスは、2003年の創設以来、知的障害や発達障害のある児童、生徒等を対象としたサッカースクールを運営し、同団体が毎年主催する「全日本知的障害児・者サッカー競技大会」は参加者が2000名を超えるまでに成長し、スポーツを通じたノーマライゼーション社会の構築に寄与しており、これらの点が高く評価されました。同じく奨励賞を受賞された特定非営利活動法人日本バリアフリー協会は、2003年より継続的に障害者の大規模な音楽イベント「障がい者の国際音楽コンクール」主催しています。今では各地での予選会も開催しており、国際化や地域展開へのさらなる波及が期待されます。2011年からは障害のある人が運営の中心となったロック・ポップスのグランドフェスティバルも開催され、これらの点が高く評価されました。

2021年、延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されましたが、共生社会の実現を目指したバリアフリー・ユニバーサルデザインの取組は益々重要になります。この度受賞された優れた取組が今後全国各地に波及し、さらなる多様なバリアフリー、ユニバーサルデザイン活動が活発に展開されていくことを期待しています。最後になりますが、多くの団体をご推薦いただきました関係省庁、都道府県・政令指定都市を始め全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平

# 目 次

## 内閣総理大臣 表彰（2件）

- ①株式会社高知システム開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ②社会福祉法人佛子園輪島KABULET®拠点施設・・・・・・・・・・ 3

## 内閣府特命担当大臣 優良賞（2件）

- ①オムロンヘルスケア株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ②特定非営利活動法人Creer・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

## 内閣府特命担当大臣 奨励賞（3件）

- ①東京大学バリアフリー支援室・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ②認定特定非営利活動法人トラッソス・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ③特定非営利活動法人日本バリアフリー協会・・・・・・・・・・ 13

- これまでの受賞者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領・・・・・・・・ 25
- 選考委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

内閣総理大臣  
表彰

高知県推薦

# 株式会社高知システム開発

(高知県高知市)

## 【概要】

- 高知システム開発は1983年、高知県立盲学校の有光勲、北川紀幸の両先生及び筑波大学附属盲学校の長谷川貞夫先生からの依頼、協力を得て視覚障害者用ワープロの開発に着手。翌年、日本初の「点字入力・音声出力ワープロ」を完成。1988年に「株式会社高知システム開発」を設立。以来、視覚障害者の情報支援、社会参加支援を目的に、視覚障害者向け各種ソフトウェアの開発、販売、アフターサービスを行っており、日本全国の多くの視覚障害者の就労・教育・文化活動に大きく寄与している。



視覚障害者向けに開発された日本初の点字入力・音声出力ワープロ「AOK点字日本語ワープロVer3.0」

## 【功績・功労】

- 高知システム開発創業者の大田博志氏は、視覚障害者の「読みたい」「書きたい」の願いにこたえるべく、高知県立盲学校教諭の有光、北川両氏と共に視覚障害者用ワープロの開発に着手し、日本初となる「点字入力・音声出力ワープロ」を完成。音声を頼りに、視覚障害者が初めて墨字の「読む」「書く」ことが可能となった。その後も高度情報化社会の進展にあわせて、視覚障害者が様々な情報から排除されることのないよう、視覚障害者向けに文字入力操作を音声で案内するスクリーンリーダーのほか、多種多様なソフトウェアを開発、販売し続けている。



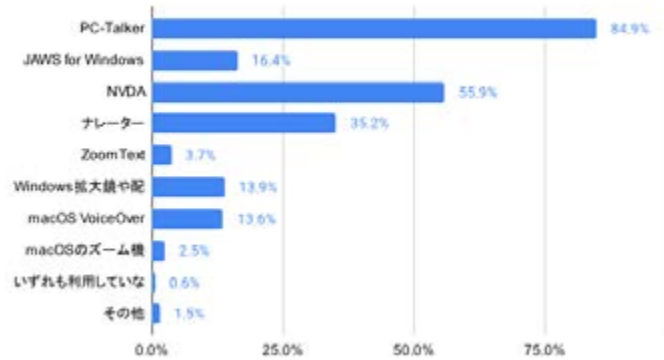
Windowsの操作を音声で案内するスクリーンリーダー「PC-Talker」

- 視覚障害者用ソフトウェアについては国内約80%のシェアを誇るトップ企業である。製品は、PC初心者も簡易に操作できるなど、ユーザビリティを最優先に開発・製作されており、こうした姿勢が、視覚障害者にとって「高知といえば高知システム開発」といわれるほど、圧倒的なシェアと大きな支持を得ているところである。



スクリーンリーダーほか視覚障害者向けに開発されたソフトウェアがインストールされたパソコンによる操作実演

パソコンで使うもの(複数回答、設問D-1)



パソコンで使うものとの質問に対しPC-Talkerと回答があったのは84.9%  
(日本視覚障害者ICTネットワークによる第1回支援技術利用状況調査)

- 同社の製品は、スクリーンリーダーPC-Talkerシリーズを始め、MyWord7(ワードプロセッサ・ワープロ)、MyRead7(印刷物・自動朗読)、MyBookV(総合読書システム)、MyMailV(メールソフト・メール)、MyNewsNeo(ニュース閲覧)、MyRouteNeo(経路探索)、MyDicNeo(辞書検索)、MyDoctorNeo(健康・医療)など多岐の分野にわたっており、視覚障害者の様々な情報へのアクセスに多大な貢献をしている。

- 同社では、パソコンソフトウェアのほかにも、スマートフォンなどの携帯端末に対応したアプリを今年発表するなど、ICT技術の進展に適応した研究開発力を有しており、今後も視覚障害者がより高度情報化社会の環境を積極的に利用できるよう、様々な製品の開発が期待される場所である。



株式会社高知システム開発  
(社屋全景)

- 点字図書館や教育、福祉施設等へ製品を寄贈するなどの活動にも積極的に取り組むなど社会貢献にも寄与している。

内閣総理大臣  
表彰

石川県推薦

# 社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設

(石川県輪島市)

## 【概要】

ぶっしえん      カブーレ

- 社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設整備に係るプロジェクトは、「あるものを活かす」をコンセプトに、輪島市の中心部に点在する空き家、空き地を利用して地域コミュニティを再生することを意図して計画された。平成30年には、温泉、足湯、食事処、生活介護、放課後等デイサービスが入る「拠点施設」が完成。2棟の既存住宅を増築棟でつないで一つの施設とし、連結の際、既存住宅との段差を減らすために、スロープ、エレベーターを設置し、バリアフリーにも対応している。
- 輪島KABULETでは、拠点施設を中心に、地域住民と福祉サービス利用者である高齢者・障害者などが交わる「ごちゃまぜ」のコミュニティづくりを推進しており、施設内には、障害者の就労支援作業室や近隣住民が利用できる住民自治室、こどもラボなどもある。近隣住民は温泉を無料で利用できる。入湯札では温泉の利用状況が確認でき、地域の高齢者等の見守り支援の役割も果たす。

拠点施設正面の様子

(温泉、足湯、食事処、生活介護、放課後等デイサービスの「ごちゃまぜ」拠点)



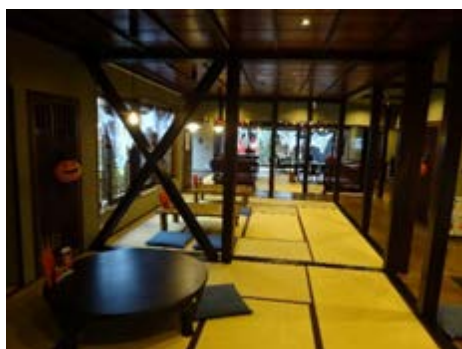
AFTER



BEFORE

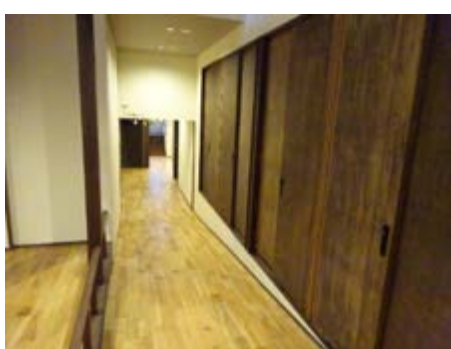
Reイノベーション  
前の様子

(「あるものを活かす」コンセプトで2棟の既存住宅を増築棟でつなげ、一体活用)



就労支援のための訓練作業室

(建物をつなげたため、畳の位置がずれている。昔の建物の柱や筋交いも残っている)



バリアフリー化のための工夫

(2つの建物の床レベルが異なっていたため、スロープを設置することで、段差を解消した)



温泉入口にある世帯別入湯札

(入湯する際は、自分の入湯札を反転させる)



## 【 功績・功労 】

- 拠点施設の近隣には、セルフカフェやウエルネス施設などもあり、これらの施設は地域住民の交流の場として利用されている貴重な地域資源となっている。
- 拠点施設から500メートル程の場所には、ゲストハウス、ワーキングスペース、中華そば屋、グループホーム、配食センターがあり、就労支援も行う第2拠点となっている。ここは、福祉サービス利用者だけでなく、地域住民、旅行者なども利用可能。この地域点在型の施設整備方式は、地域経済活性化や観光資源として地域社会に貢献している。
- 上記のように、輪島KABULETでは、空洞化した中心市街地の活性化、地域コミュニティづくり、障害者や地域住民の就労の場など、障害者福祉だけでなく地域経済にも大きく貢献している。



GOTCHA! WELLNESS 輪島  
(拠点施設向かいのウエルネス施設。左側は増築。イベント時は道路を挟んだ拠点と一体的に使用)



Café KABULET  
(旧診療所を改築したセルフカフェ「ママカフェ」)



KABULET 第2拠点「うめのや」  
(ゲストハウス、コワーキングスペース、中華そば屋、グループホームが入る。左に配食センターが隣接している)



### 拠点施設周辺「Reイノベーション施設MAP」

(拠点施設周辺に施設機能を点在させ、地域住民が行き交う「ごちゃまぜ」のまちづくりにも貢献している)

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

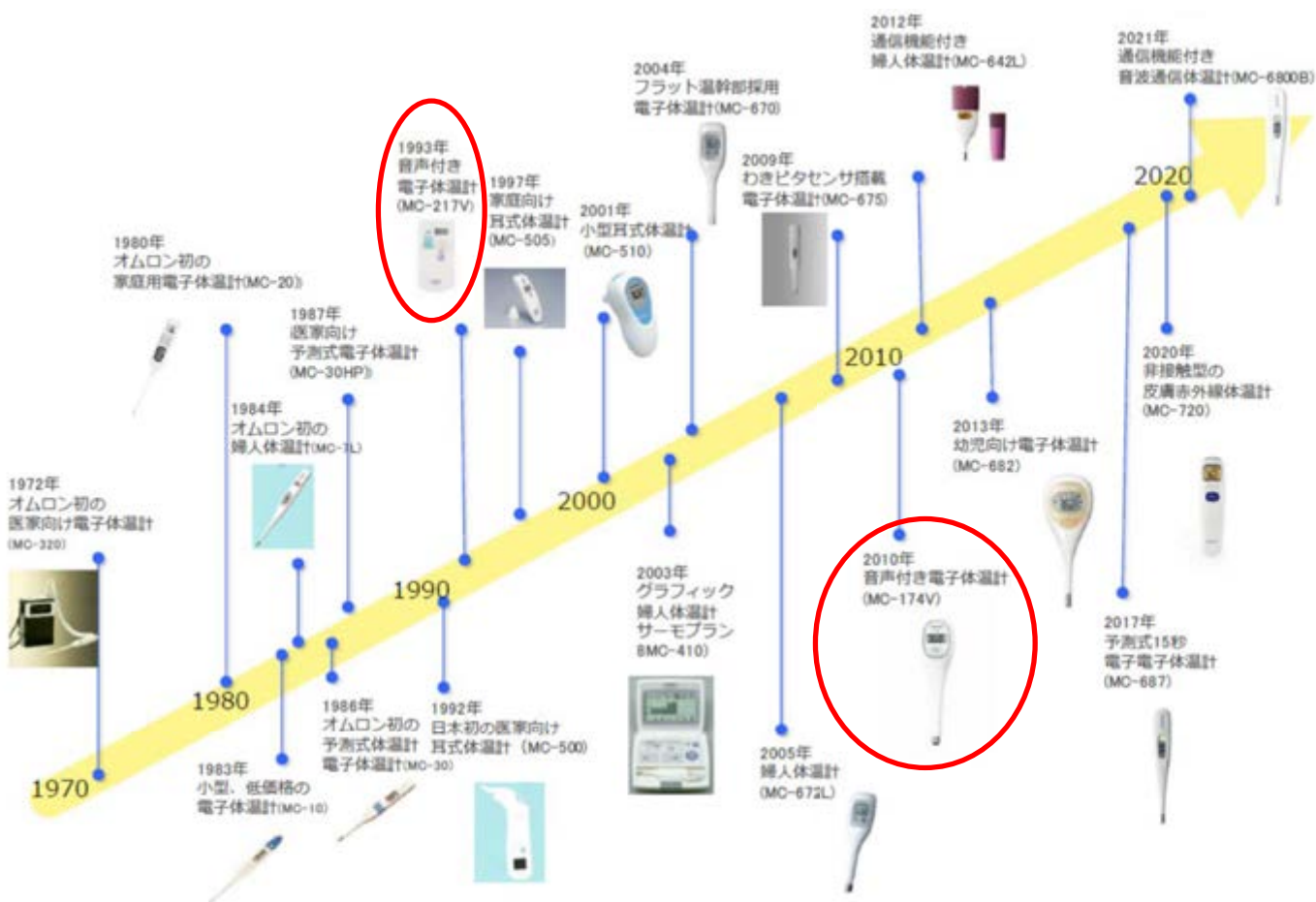
厚生労働省推薦

# オムロン ヘルスケア株式会社

(京都府向日市)

## 【概要】

- オムロン ヘルスケア株式会社は、視覚に障害のある方でも一人で測定できるように、測定結果や手順を音声でお知らせする機能を搭載した音声付き体温計を開発・提供している。
- 現在、視覚障害者向けの音声付き体温計を販売しているのは同社のみであり、視覚障害者にとって、かけがえのない製品となっている。



同社の体温計の歴史(赤丸囲みが音声付き体温計)

## 【 功績・功労 】

- 1993年に音声付き体温計の第1号機を発売。当時の技術では、一般向け電子体温計よりもかなり大きく、形状も本体と体温センサー部分が分かれ、一般的な体温計との形状の違いからユーザーからは扱いにくいとの評価も寄せられたが、同製品は視覚障害者の間で普及した。
- その後、ユーザーである視覚障害者の意見を取り入れた「インクルーシブデザイン」の視点で改良。2010年に発売された現行2号機では、一般向け電子体温計と同じ形状になり、さらに、触覚で操作しやすいスイッチやレイアウトの変更など、使いやすさが向上した。
- 特に、音声付き体温計は、育児を行う視覚に障害のある父母にとっても子供の命を守るために不可欠なツールである。コロナ禍で急増した視覚障害者からのニーズにも対応するなど、同社は重要な役割を果たした。



第1号機(MC-217V)

(本体は縦116×横60×幅23mm  
音声をメモリ化した。当時の技術  
ではこの大きさが限界だった。)

音声スイッチ(いつでも音声でお知らせ)

音量調整スイッチ(3段階)

電源スイッチ  
(触りやすいよう横に配置)



現行2号機(MC-174V)及び収納ケース

(「インクルーシブデザイン」として、ユーザーの意見を取り  
入れて改良。一般の電子体温計と同じ形状になった。)



内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

徳島県推薦

# 特定非営利活動法人Creer

(徳島県徳島市)

## 【概要】

➤ 特定非営利活動法人Creerは、<sup>クレール</sup>2008年、障害のある人が、それぞれの可能性を実現できることを信じて、スペイン語で信じるという意味のCreer(クレール)の名で設立され、障害者の学校卒業後の就労の場として、レストランをオープンした。製造工程の効率化や提供する食事の質の向上等を掲げ、2021年には、就労継続支援B型としては、全国でもトップレベルの平均賃金に到達している。さらに、働く場所を得て賃金を得られるようになった障害のあるメンバーが、自分の身についた調理の技術で地域に貢献したいと思い立ち、子ども食堂を平日毎日開店し、地域共生の推進に貢献している。

## 【功績・功労】

➤ 全国でもトップレベルの平均賃金

2014年より、障害者福祉サービス事業所の認可を受け、就労継続支援B型の事業を開始し、外部の事業改善の実践塾も活用しながら、製造工程の効率化や弁当の質の向上等により、1日100個の壁を越えられなかった日替わり弁当の数量が、2015年には、1日300個の製造販売を行えるようになり、月間売り上げ250万円、平均賃金は全国でもトップレベルの月額6万円を超えている。(2021年11月現在)



Creer



メンバーによる調理の様子

## ➤ 子ども食堂

2018年より、働く場所を得て賃金を得られるようになった障害のあるメンバーが、自分の身についた調理の技術で地域に貢献したいと思い立ち、子ども食堂を開始した。2021年8月までに、延べ2万人が利用した。また、2020年10月から、生活困窮世帯や障害のある子供のいる家庭を中心に食事を届ける子ども食堂宅食便も実施している。障害があっても、自立のための賃金を得ながら生き生きと働き、美味しいものを作って、社会貢献に挑戦している姿を見てもらうことで、地域共生の推進に寄与している。



メンバーが調理した日替わり弁当



メンバーが調理した焼き菓子



メンバーが調理した唐揚げ定食



子ども食堂の様子

## ➤ 活動の波及

運営は障害を持ったメンバーで大部分対応できるところまでできており、同法人の活動は、周辺地域だけではなく、全国の障害者就労支援施設や子ども食堂から注目されており、講演等を通じてノウハウを伝えている。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

厚生労働省推薦

# 東京大学バリアフリー支援室

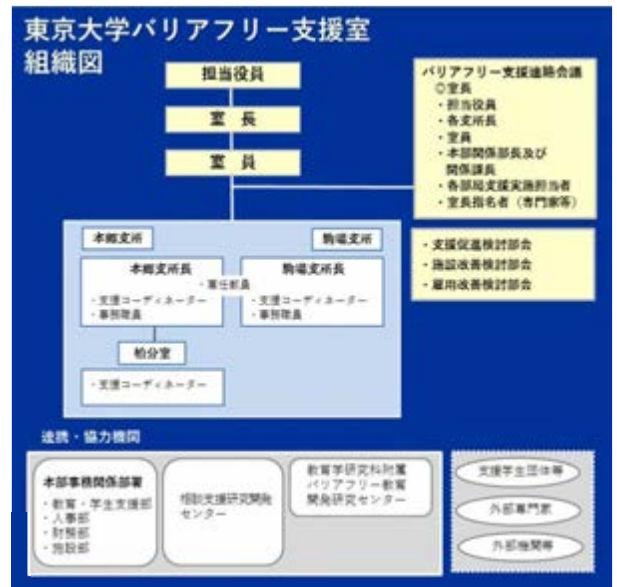
(東京都文京区)

## 【概要】

➤ 2001年、東京大学に世界で初めて盲ろう者が常勤大学教員に着任したことを契機に東京大学バリアフリー計画が始まり、総長室にバリアフリーワーキンググループが設置され、2002年にワーキンググループの報告書「バリアフリーの東京大学」が完成した。この報告書では、推進組織の整備や当事者参画のモニター会議の設置、障害者のための施設・設備の整備、経費の支援措置といった課題項目が掲げられており、これらの課題の解決・達成を図るため、2004年に「東京大学バリアフリー支援室」が発足した。

そして、この課題解決・達成を当該バリアフリー支援室が目指すことにより、バリアフリー支援の先行事例が蓄積され、今では多くの大学において障害のある学生への支援が行われているが、その後の高等教育における機会均等とバリアフリー支援モデルが形成されることとなった。

東京大学バリアフリー支援室  
組織図

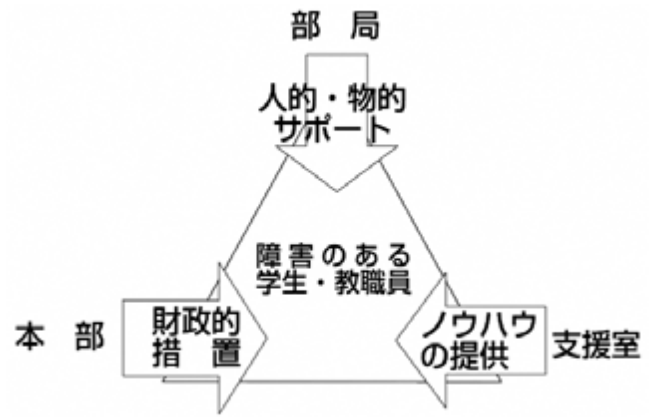


## 【功績・功労】

➤ 東京大学が目指す構成員の多様性(ダイバーシティ)は社会にとっても重要な視点であり、多様な属性の人々が集うキャンパス空間の構築を目指すためには、人的・物的支援を含むバリアフリーは必要不可欠であり、障害のある学生・教職員を同一理念で支援していくことをバリアフリー支援室の設立当初に明確にし、大学として最先端学問の研究対象に「バリアフリー及び支援技術の開発」を打ち出し、研究成果の確認としてもバリアフリー支援が継続できるようにしている。

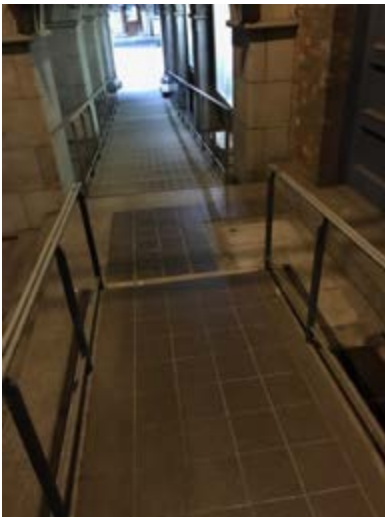
- また、部局・本部・バリアフリー支援室の三者が互いに連携して障害のある学生・教職員の支援を行っているが、各部局が「バリアフリー支援実施担当者」を選任して人的・物的サポートを行い、本部は財政的措置を、バリアフリー支援室は支援を進めるにあたっての必要なノウハウを提供する「支援の三角形」という全学的な取り組みを先駆けて進めてきた。

なお、障害のある教職員への支援を担う専門部署を持つのは、国内大学においては当該バリアフリー支援室のみである。



東京大学バリアフリー支援室  
支援体制図

- 特に東京大学本郷キャンパスは歴史的建造物が多く存在している中、段差解消のスロープや点字ブロックの設置など、困難を伴いながらも積極的にバリアフリー化に対応してきた。



スロープ



障害のある学生への  
バリアフリー支援ガイド

- 研究拠点への支援を形としたバリアフリー支援体制が大学全体で構成されている点は他の大学と比較しても稀な例であり、20年近い活動実績を持つ代表的な組織である。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

東京都推薦

# 認定特定非営利活動法人 トラッソス

(東京都江戸川区)

## 【概要】

➤ 認定特定非営利活動法人トラッソスは、2003年の創立以来、知的障害や発達障害のある子供・成人を中心としたサッカースクール・サッカークラブの運営や、スポーツ指導者の育成・派遣等を行うことで、障害者にはスポーツを行う環境を提供し、健常者には障害者理解に関する普及啓発を推進してきた。

同団体は、「笑顔」と「やりたくなるサッカー」を理念に、生徒の自立と自主性を重んじ、スポーツを契機に障害者の社会参画と自立を促しており、特に、同団体が主催する「全日本知的障害児・者サッカー競技大会」では、全国の障害者や地元住民をはじめ、障害の有無を問わず多様な方々を関わるることにより、スポーツを通じて地域社会のノーマライゼーションにも寄与している。

## 【功績・功労】

### ➤ 活動の開始

サッカーJリーグ傘下組織の指導者だった現副理事長が、中学校の特別支援学級で知的障害のある子供にサッカーを教えたのをきっかけに、障害者・児に、笑顔で楽しむサッカーを通じて精神的な自立と社会参画を促そうと、特別支援学級の教諭であった現理事長らの協力を得て活動が開始された。



練習試合の様子



➤ 3つの活動

現在では、サッカースクール・クラブ運営のほか、指導者が障害の特性を理解できるよう専門家を招いた勉強会を重ねての指導者の育成、行政主催事業をはじめ企業・団体・イベントへの指導者の派遣も行っている。また、道具などもサッカーを楽しめるよう工夫し、幼児等も楽しめるようにバルーンタイプの運動用具を使用した運動教室やファミリーサッカーなど健常者との様々な交流イベントを開催しており、スポーツを通じて障害児・者と健常者がお互いを認め合い尊重し合えるコミュニティ作りを行っている。

3つの活動



運動教室



ファミリーサッカー



➤ なお、同団体の活動は学生や社会人など多くのボランティアにも支えられており、多様なボランティアの参加を受け入れることにより、サッカースクール・クラブ活動等を通じて、障害者・児等参加者それぞれの視野・世界を広げることに結びついている。

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

東京都推薦

# 特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会

(東京都千代田区)

## 【概要】

➤ 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会は、音楽を通じた障害者の社会参加を目的として、2001年より、近隣学校にて障害者による演奏・講演を草の根的に展開し、2003年より、障害をもつ音楽家がグランプリを競う「ゴールドコンサート」を、2013年より、障害者が運営の担い手となるロック・ポップスの複数の著名アーティストによる音楽イベントである「GCグランドフェスティバル」を開催しており、約20年に渡り継続的に障害者が主体となった大規模な舞台芸術イベントを実施している。

## 【功績・功労】

### ➤ ゴールドコンサート

約100組の応募者のうち国内外の予選3～5カ所を勝ち抜いた約10組の障害をもつ音楽家やダンサーが、毎年1回、東京国際フォーラムの決勝大会に集まりグランプリを競う障害者の国際舞台芸術コンクール。車いすスペースの多数設置、パソコン要約筆記、手話通訳、点字資料、読み上げ対応テキスト、インターネット生放送など様々な障害に対応できるよう運営している。また、グランプリ受賞者が東京パラリンピックの開会式で国歌斉唱をするなど活動が広がっている。





ゴールドコンサートの国際性

➤ GCグランドフェスティバル

ロック・ポップスの複数の著名アーティストによる音楽イベントで、日本初の障害者が主催するエンタテインメント事業。障害者が企画運営全般、印刷物・webの制作、広報、当日の案内、写真撮影など業務の約半分を担っている。音楽ライブのほか、ヒューマンライブラリーや障害者による製作物販売のブース設置もしており、障害の有無に関わらず同じ場で実際に働き、遊ぶことによりそれが当たり前の社会になるよう参加者の啓発を行っている。また、GCグランドフェスティバルに参加したアーティストからは「どんどん広がっていけばよい」という声が寄せられている。



GCグランドフェスティバルの様子

# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

## ～これまでの受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理大臣表彰	新井リゾート開発株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房長官表彰 (第3回までは、内閣官房長官表彰となる。)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか共同研究室マイスター倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよい街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備ボランティア会
	特定非営利活動法人 デイヘルプ	特定非営利活動法人 日本サスティナブル・コミュニティ・センター	仙台シニアネットクラブ
	特定非営利活動法人 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社料亭こもだ		

※1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施

※2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している

※3 NPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)の略。

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワー ク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	特定非営利活動法人 シーエス障害者放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
	THE MAGICAL TOY BOX	

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセン ター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研 究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングク ラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーワ株式会社	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセ ンター
	特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ	特定非営利活動法人 市民生活支援センターふくしの 家
		特定非営利活動法人 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
		特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社東京信友	特定非営利活動法人 Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サン工芸
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人 安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人 明治安田こころの健康財団	特定非営利活動法人 ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	特定非営利活動法人 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと	
	特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理 大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	特定非営利活動法人 UDくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会



	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会・和歌山県立博物館
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	特定非営利活動法人 ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大町立大町南小学校
	有限責任事業組合 A S I 栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・ 京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザ アオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社ジェイ・ティ・アール
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサルデザイン プロジェクトチーム
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房
	川端鉄工所株式会社	なにわー水
	株式会社主人公	
	地域共生型 福祉施設整備協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundUDグループ
		座間キャラバン隊

	第16回受賞 平成29年度 (2017年度)	第17回受賞 平成30年度 (2018年度)
内閣総理 大臣表彰	仙台市交通局	有限会社 エクストラ
	全日本空輸株式会社・ ANAウイングス株式会社	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	石狩市	社会福祉法人 愛知たいようの杜
	株式会社エスコアール	明石市
	道の駅 常陸大宮	合同会社 Chupki
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	オプトニカ工房有限公司	藤巻 進
	篠原電機株式会社	富士見高原リゾート 株式会社
	戸田市立笹目小学校	
	株式会社スワン	

	第18回受賞 令和元年度 (2019年度)	第19回受賞 令和2年度 (2020年度)
内閣総理 大臣表彰	一般社団法人日本玩具協会	株式会社 アステム
		東急電鉄株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	WHILL株式会社	岡山放送株式会社 「手話が語る福祉」制作チーム
	中橋真紀人	セイコーウオッチ株式会社
	特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議	Palabra株式会社
	富士市	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	株式会社システムギアビジョン	奥山梨衣
	特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワー ク	神奈川トヨタ自動車株式会社
	株式会社ファンケル	大日本印刷株式会社
	特定非営利活動法人 横濱ジェントルタウン倶楽部	特定非営利活動法人 福祉住環境ネットワークこうち

	第20回受賞 令和3年度 (2021年度)	第20回までの 受賞件数
内閣総理 大臣表彰	株式会社高知システム開発	内閣総理大臣表彰 31件
	社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ヘルスケア株式会社	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件
	特定非営利活動法人C r e e r	内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件  内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～20回) 60件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	東京大学バリアフリー支援室	内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～20回) 48件
	認定特定非営利活動法人 トラッソス	
	特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会	
		総計 181件

# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日  
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定  
平成29年4月3日  
一部改正

## 1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

## 2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

## 3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

## 4 表彰の方法

表彰状及び記念品

## 5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

## 6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

## 7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

## 8 その他

この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰  
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学名誉教授

委員

飯野奈津子 ジャーナリスト

山梨大学客員教授

小澤 温 筑波大学人間系教授

勝尾 岳彦 株式会社コンシリウム代表取締役

元日経BP社日経デザイン編集委員

篠 佳子 国立障害者リハビリテーションセンター非常勤講師

関根 千佳 株式会社ユーディット会長・シニアフェロー

同志社大学大学院総合政策科学研究科客員教授

長岡 英司 社会福祉法人日本点字図書館館長・常務理事

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長

藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授

(敬称略、50音順)

内閣府政策統括官(政策調整担当)  
(参事官(総合調整担当))

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

中央合同庁舎第8号館8階

電話 : 03-6257-1445

FAX : 03-3581-0699

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>